

令和7年度湘南大庭地区郷土づくり推進会議
＜全体会議（第13回定例会）議事録＞

日時：2026年（令和8年）3月3日（火）19：00～21：45

場所：湘南大庭市民センター 2階 第1談話室

出席者：10名 別添出席者名簿のとおり

（協力員）0名

（事務局）湘南大庭市民センター 大塚センター長、田嶋主幹、近藤、劔

1 全体での進捗確認・審議事項

（1）第7期総括資料の作成について〈資料1・2・3・4〉

- ・市長への提言を目指し、第7期総括資料の作成を進めてきたが、総意を取りまとめるには至らなかった。しかし、議論の過程で示された論点や示唆は今後の検討に資すると考える。
- ・来期の検討に向け、委員から提出された資料を参考に、導入すべき事項として取りまとめた。この資料は今後の検討の基盤とし、議論のきっかけとしたい。資料作成への協力は2名からのみであったが、継続・退任予定の委員の意向も考慮し、追加資料の提出を受け付ける（最終提出期限：3月17日）。
- ・資料3（会議の経緯）と資料4（役割）についても、会議の背景を理解するため掲載する。
- ・活性化指針に基づき、市民の声からキーワードを選定し、資料に反映することを確認した。

2 各部会からの報告・審議事項

（1）発信部会（審議）〈資料5・6〉

資料5-1（全体集会意見の地域発信）について

- ・サブタイトルを「来期につなぐ」にすることを決定した。
- ・アンケートではなく、「ご意見のある方はこちら」という表現を用いる。
- ・推進会議ホームページの二次元コードとご意見の二次元コードを作成するよう事務局に依頼した。

資料6（自治会の回覧板機能停止と代替案）について

- ・今年度に自治会が解散し、回覧板機能が停止するため、新たな情報伝達手段の確保が喫緊の課題であることを確認した。
- ・代替案として、LINE 公式アカウントやデジタル回覧板の活用を検討。事務局はLINE 公式アカウントの試行運用を検討する。
- ・LINE 公式アカウントの運用費用や、紙の回覧板との併用によるデジタル化の課題について議論した。
- ・自治会離れが進む中で、情報伝達のあり方や自治会の役割、地域の連携の重要性について意見交換を行った。
- ・遠藤地区の「遠藤ニュース」のような、各団体の情報をまとめた冊子による発信方法も参考事例として共有された。
- ・ポータルサイト運営委員会の再構築の必要性も提起された。

(2) ゴルフ部会（報告）〈資料7〉

- ・ゴルフコンペは3月18日（水）、プレー費は20,800円、コンペ関連費は3,300円（軽食代1,650円、個室使用料220円、事務経費1,430円）。
- ・大会の目的はコミュニケーション促進であり、高額な賞品は設定しないことを確認した。
- ・キャンセル規定、ドレスコードなどの旨を明記。ゴルフ保険は各自かけていると思うが、市民活動保険の活用可能性への対応を依頼した。
- ・申し込みはLINEの二次元コード、メール、電話で受け付け。電話申し込み者には資料を直接渡すなど、事務局で対応を検討した。
- ・参加予定者は13名（時津議長を含み。時津議長は欠席者が出たときに対応予定）。当日キャンセルへの対応も検討した。

(3) 距離表示部会（報告審議）〈資料8〉

- ・距離表示板（8箇所）の設置が進み、今年度中に形となる見込み。
- ・活動報告会チラシ（資料8-1、8-2）を作成し、印刷済み。2月の定例会資料からビジュアルを重視した内容に変更した。資料8-2はMap部会の了解を得て作成。
- ・ウォークイベントを3月18日～20日に開催予定。イベントでは、設定した自立式距離表示板を活用し、参加者が3箇所の写真を撮影してセンターに持参。
- ・確認後、湘南大庭 HappyMap とオリジナルシールを贈呈する。
- ・イベント開催時間は各日10時～15時。運営は2～3名で行い、ゴルフ部会（18日）やかなた部会（19日午後）のイベントとの連携も考慮する。
- ・湘南ウォークアンケート（資料8-3）について審議
- ・漠然とした自由意見だけでなく、イベントの満足度や今後の参加意向などを問う形式に修正する。
- ・事務局より、今後の事業評価指標（KPI/KGI）設定のため、アンケートの満足度調査項目を共通化したい意向が示された。来年度以降、共通アンケートの導入を検討する。

(4) かなた部会（報告）〈資料9〉

- ・大庭小学校でのイベント（2月14日開催）。時間短縮のため札数を減らし、多数のスタッフの協力により効率的に進行できた。
- ・こまランのイベント（2月17日開催）。こまランのスタッフにかなたの遊び方を伝授し、市民向けイベントを実施。スタッフと連携することで部会の負担軽減につながった。学生ボランティアも参加した。
- ・滝の沢小学校でのイベント（3月19日開催）
- ・大庭小学校、滝の沢小学校の認定証作成は現在検討中。明日、センターで協議し、最終的な内容を皆さんに報告する。
- ・次期委員のための資料作成では、写真や動画の活用も検討。最終版を17日までに提出する。
- ・貸し出しについて、事務局と連携し、通常環境の販売やジャンボカルタの貸し出

しを継続する。ジャンボカルタのラミネート化と増刷も引き続き検討する。

- ・ 今後は先行地区（明治や善行など）との連携・交流を進める。
- ・ 湘南大庭郷土づくり事業の成果資料を今期中にWebに掲載予定。

（5）MAP部会（報告審議）〈資料10〉

- ・ 2月16日に部会開催をした。
- ・ HappyMapは、今年度のふるさとまつりや市民センター等で配布され、湘南大庭ウォークの参加賞としても配布予定。
- ・ 藤沢市図書館に地域資料として登録され、永年保存となることが報告された。
- ・ 小学生から大人まで幅広く活用されている事例が紹介された。

課題と今後の検討

- ・ 当初はデジタル媒体での展開を考えていたが、メンバーの知識不足により実現できなかった。
- ・ 現状は紙媒体のみでの公開で、限定的な配布のため希少性がある一方、広く知られていない。
- ・ 今後のインターネット公開（ふらっと湘南大庭へのPDF掲載など）について、広く情報を届けられるメリットと、希少性が薄れる可能性のバランスを議論した。
- ・ 価値は希少性ではなく「役に立つか」で判断されるべきとの意見も出た。
- ・ HappyMapの魅力は、洗練されたオリジナルデザインにあることを強調し、デザインを担当した梅原氏に感謝が述べられ謝礼について検討した。
- ・ 部会の活動継続の意向が示され、マップを「育てていきたい」という思いから、メンバーも継続に前向きに第8期に応募。部会長は交代予定。
- ・ 来年度の活用方法として、子どもたちに街への愛着を持ってもらうため、かるた部会のような地域連携やイベント展開、カレンダー作成などを検討する。
- ・ 推進会議への貢献として、メンバー交代などで負担を軽減し、活動を継続していくことを目指す。
- ・ ポータルサイトだけでなく、インスタグラムのようなSNS活用も検討し、部会が中心となって発信していくことを確認した。

（6）セカンドライフ部会（報告）〈資料11〉

- ・ 参加したい講座としてニーズがあることが確認された。今後の講座の組み合わせを再検討する。
- ・ 世代間のコミュニケーションを重視し、対象年齢を50歳以上から50歳～70歳に拡大することを検討している。
- ・ 大学教授の講演料について、市の規定（2時間の上限3万円）となる。
- ・ 地域活動
慶應大学の研究会が滝の沢団地で活動を行っていることを報告。地域の高齢者と子どもが遊べるような集まりが好評を得ている。

今後の生涯学習事業との連携について検討を進める。写真が多い資料へのニーズがある。

（7）大庭城跡部会（報告）

- ・ ワクワクフェスタは12月12日（土）を予定している。予備日については確保

が困難。

- ・パブリックコメントとして、認知度向上、SNS 情報発信強化、講座講演会の開催内容見直し、大庭城の魅力発信などが挙げられた。
- ・他地域の事例（鎌倉の玉城での小中学生向け探検隊活動、山下さんのガイドなど）も参考に、藤沢全体の地域情報発信に貢献する資料作成を検討していく。

3 事務連絡

(1) 令和7年度予算執行状況について

- ・令和7年度予算執行状況について事務局から資料を説明した。
- ・お手玉やビブスのデザイン、地域への発信方法について、予算執行と合わせて検討を進めることが確認された。
- ・イベント用ビブスのデザインについて議論した。
- ・特定のイベントや地域に限定されない、汎用的に使えるデザインが望ましいという意見が事務局から出た。

最終的に、イラストと「湘南大庭」の文字を入れることで合意された。これに伴い、約6万円程度の追加費用が発生するため、他の購入予定品を調整することとした。

- ・事務局は、イラストと文字を中村委員と相談し、早急に発注を進めることとなった。
- ・参加賞（チャーム付き名入りボールペン）についての議論
「住みたい住みたい湘南大庭」の文字とふじキュンのイラスト（多数決でハートのデザイン）を入れることで合意。色は業者と相談して決定する。
- ・早期発注が必要なため、この場でデザインを決定した。

(2) 「Hub Session」について

- ・第2回が3月13日に開催予定であり、事務局から参加が呼びかけられた。
- ・他事業（生涯学習事業など）との連携の可能性や、地域住民の参加不足、外部委託事業との連携の課題について議論された。
- ・郷土づくり推進会議が地域コミュニティの中心となるべきだが、現状は連携が不足しているという意見が出た。

(3) Theキャンドルンドルナイト2026について

- ・3月11日16時～20時に二番構公園で開催されることが案内された（主催：特定非営利活動法人ぐるんとびー）。

(4) 県営藤沢大庭団地建て替え事業について

- ・令和8年2月に県の住宅整備課から説明会資料が提供された。以前の説明会での意見を踏まえ、計画の一部変更があり、令和7年10月に説明会が開催された。要望書は令和8年3月12日までに提出する必要がある。
- ・資料が膨大であるため、関心のある委員は紙資料で確認可能である旨が伝えられた。

以上